

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-328539

(P2005-328539A)

(43) 公開日 平成17年11月24日(2005.11.24)

(51) Int.Cl.⁷

H04Q 9/00

G11B 31/00

H04B 1/06

F I

H04Q 9/00

G11B 31/00

H04B 1/06

301E

511B

テーマコード (参考)

5K048

5K061

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2005-139160 (P2005-139160)

(22) 出願日 平成17年5月11日(2005.5.11)

(31) 優先権主張番号 10/844,700

(32) 優先日 平成16年5月13日(2004.5.13)

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 591009509

ボーズ・コーポレーション

BOSE CORPORATION

アメリカ合衆国マサチューセッツ州017

01, フラミンガム, ザ・マウンテン (

番地なし)

(74) 代理人 100064908

弁理士 志賀 正武

(74) 代理人 100089037

弁理士 渡邊 隆

(74) 代理人 100108453

弁理士 村山 靖彦

(74) 代理人 100110364

弁理士 実広 信哉

最終頁に続く

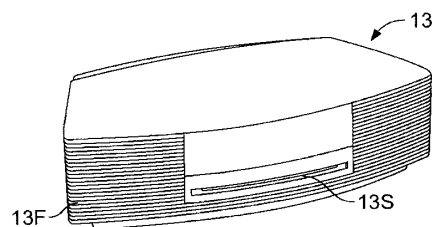
(54) 【発明の名称】 筐体収納型リモートコントロール式音響システム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザーが主筐体に近接している場合より優れた音響品質を認識できると思われる、主筐体から離れた位置で音響再生システムを聞く動機づけを、音響再生システムのユーザーに、与えることにある。

【解決手段】 少なくともラジオ及び左右のラウドスピーカーを主筐体13内に有する音響再生システムには、少なくともマニュアル選択式の音量及びチューニング制御部が含まれない。リモートコントローラ14には、少なくともマニュアル選択式の音量及びチューニング制御部が含まれる。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

少なくともリモートコントロール式ラジオと左右のラウドスピーカーとを主筐体内に有する音響再生装置であって、

リモートコントローラは、少なくとも音量及びラジオのチューニングを制御するように構成されたマニュアル選択式制御部を含み、

前記主筐体は、少なくとも音量及びチューニングを制御するように構成されたマニュアル選択式制御部を含まないことを特徴とする音響再生装置。

【請求項 2】

前記主筐体は一切のマニュアル選択式制御部を含まず、

前記リモートコントローラは、前記ラジオのすべてのマニュアル式制御可能パラメータを制御するように構成されたすべてのマニュアル選択式制御部を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の音響再生装置。

【請求項 3】

前記主筐体は更に C D プレイヤを包含し、

前記リモートコントローラは、更に、少なくとも、再生 / 一時停止と停止 / 取出しとを制御するように構成されたマニュアル選択式制御部を含み、

前記主筐体は、再生 / 一時停止と停止 / 取出しとを制御するように構成されたマニュアル選択式制御部を含まないことを特徴とする請求項 1 に記載の音響再生装置。

【請求項 4】

前記主筐体は一切のマニュアル選択式制御部を含まず、

前記リモートコントローラは、前記 C D プレイヤのすべての機能を操作可能にも構成されたマニュアル選択式制御部を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の音響再生装置。

【請求項 5】

開示された装置及び技術中に存在し又は含まれ得る、それぞれすべての特徴、及び、その特徴の新規な組み合わせ。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、概してリモートコントロール式音響再生に関し、詳細には、筐体内に収納された形態のリモートコントロール式音響システム、しかも、少なくともラジオを備え、且つ C D プレイヤを含んでいてもよく、更に、少なくとも、音量調節セクタ、チューニングセクタ、C D 再生 / 一時停止セクタ、及び、C D トラック・セクタを含まず、好ましくはすべてのマニュアル・セクタを含まない、筐体収納型リモートコントロール式音響システムのための装置及び技術に関する。

【背景技術】**【0002】**

図 1 に示す、発売中のボーズ・ウェイブ・ラジオ / C D (B O S E (登録商標) W a v e R a d i o / C D) 機を参照する。

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

本発明の重要な目的は、ユーザーが音響再生システムの主筐体に近接している場合より優れた音響品質を認識できると思われる、該主筐体から離れた位置で音響再生システムを聞く動機づけを、音響再生システムのユーザーに、与えることにある。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

本発明によれば、音響再生装置は左右のラウドスピーカー及びラジオを備える主筐体を有する。該主筐体は、少なくとも、音量及びラジオ局チューニングのためのマニュアル選択式制御部を含まない。主筐体内に C D プレイヤをさらに備える一実施形態では、更に、

10

20

30

40

50

少なくとも、マニュアル選択式の再生／一時停止制御部、停止／取出制御部、トラック制御部をも含まない。主筐体から再生される音響を制御するすべてのマニュアル選択式制御部を備えたりリモートコントローラ、典型的には赤外線リモートコントローラが利用される。好ましくは、前記主筐体は一切のマニュアル選択式制御部を含まない。

【 0 0 0 5 】

多数の他の特徴、目的及び利点は、以下の詳細な説明及び添付図面において明らかにされる。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 0 6 】

本発明に係るリモートコントロール式音響システムの実施形態について、図面を参照しつつ以下説明する。図 1 は、フロントグリル 1 1 F の背後に配設された左右のラウドスピーカーを備えたクロックラジオ及び C D プレイヤを備える主筐体 1 1 を有する市販中のボーズ・ウェイブ・ラジオ／C D (B O S E (登録商標) W a v e R a d i o / C D) 機を示す斜視図である。トップパネル 1 1 T 上には、リモートコントローラ 1 2 のものと同様のたくさんのマニュアル選択式制御部 1 1 C が形成されている。

10

【 0 0 0 7 】

図 2 は、本発明に係るマニュアル選択式制御部を一切含まないクロックラジオ／C D 機の主筐体 1 3 を示す斜視図である。この実施形態においては、フロントパネル 1 3 F に形成された C D 出し入れ用のスロット 1 3 S を備えた C D プレイヤが更に含まれている。フロントグリル 1 1 F の背後には左右のラウドスピーカーが配設され、該スピーカーはアコースティック調ウェイブガイド・ラウドスピーカー・システムが好ましい。

20

【 0 0 0 8 】

図 3 は、図 2 のラジオ／C D 機を制御するためのリモートコントローラを示す平面図である。リモートコントローラ 1 4 は、各機能に対応したラベル表示がなされた 2 6 個の感圧スイッチを含む。再生モードは、C D のシャッフル再生モード及び繰り返し再生モードを選択する。アラーム・オン／オフ・スイッチはアラームをオン又はオフに切り替える。目覚ましスイッチは、アラーム機能として、ラジオ又は C D の再生を設定する。アラームタイム・スイッチは、一回押すとアラームタイム設定モードとなり、押した後少なくとも 1 秒間保持するとシステム設定モードとなる。タイム (-) 及び (+) スwitch は時刻を設定し、アラーム設定モードではアラーム時刻を設定する。シークスイッチは、強い信号を発している次のラジオ局を検出する。

30

【 0 0 0 9 】

チューン／トラック・スイッチは、記憶された次の又は前のラジオ周波数に、或いは、次の又は前の C D トラックにスキップさせる。プレイ／ポーズ (一時停止) ・スイッチは C D を再生、又は、C D の再生を一時停止させる。ストップ／イジェクト (取出し) ・スイッチは、一回押すと C D 再生を停止し、再び押すと停止された C D が排出される。プリセット・スイッチは、押した後保持すると、すばやい再起動のためにラジオ局を記憶し、一旦記憶した後に押すと記憶されたラジオ局が呼び出される。F M / A M スwitch はラジオをオン状態にし、再び押すことにより F M と A M との切替えを行う。C D スwitch は C D プレイヤをオン状態にする。A U X スwitch は、押すと外部ソースからの音響を聞こえるようにする。オン／オフ・スイッチは、電源をオン又はオフにし、音声アラームを停止させる。スリープ・スイッチは、事前に決定された秒数の後に音声アラームを自動的に停止する単位を設定する。

40

【 0 0 1 0 】

本発明は、本出願の後、まもなく発売が予定されるボーズ・ウェイブ・ラジオ／C D I I (B O S E (登録商標) W a v e R a d i o / C D I I) 機において実施される。

【 0 0 1 1 】

本発明の重要な目的は、ラジオ／C D 機の主筐体 1 3 に近接している場合より優れた音響品質を認識できると思われる、主筐体 1 3 から離れた位置で音響再生システム (ラジオ

50

/ C D 機) を聞く動機づけを、該ラジオ / C D 機 のユーザーに、与えることにある。

【産業上の利用可能性】

【0012】

当業者であれば、本発明の精神から逸脱することなしに、本明細書に開示された装置及び技術を多数利用できること、改良を加えること、並びに、該装置及び技術に基づき発展できることは明らかである。従って、本発明は、本明細書中に開示され、且つ、添付の特許請求の範囲に記載された各請求項の技術的範囲のみによって限定された装置及び技術に含まれる各々且つすべての新規な特徴及び新規なその組合せを包含していると解釈されるべきものである。

【図面の簡単な説明】

10

【0013】

【図1】発売中のボーズ・ウェイブ・ラジオ / C D (B O S E (登録商標) W a v e R a d i o / C D) 機の外観を示す斜視図である。

【図2】本発明に係るマニュアル選択式制御部を一切含まないクロックラジオ / C D 機の主筐体の外観を示す図である。

【図3】図2のラジオ / C D 機を制御するためのリモートコントローラを示す平面図である。

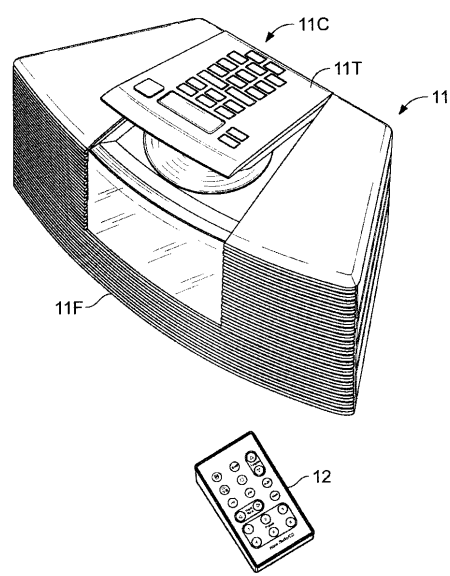
【符号の説明】

【0014】

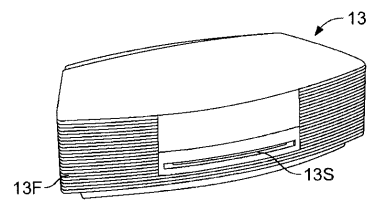
- 11、13 主筐体
- 11C マニュアル選択式制御部
- 11F フロントグリル
- 11T トップパネル
- 12、14 リモートコントローラ
- 13F フロントパネル
- 13S スロット

20

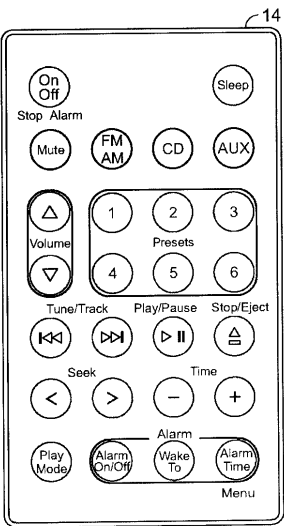
【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】



フロントページの続き

(72)発明者 アマー・ジー・ボース

アメリカ合衆国・マサチューセッツ・0 1 7 7 8・ウェイランド・ディア・ラン・ロード・1 7

Fターム(参考) 5K048 BA02 DA01 DB04 DC01 HA02

5K061 AA09 BB01 BB19